

トイレの問題について

TOILETING



なぜこうになってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人に
見られる傾向：

- 身体の機能の管理ができなくなる。
- 利尿作用の高い薬を服用している。
- 浴室やトイレの用途を忘れる。
- 助けを求めることは恥ずかしいと感じる。
- トイレに間に合わないことがある。
- 服を下ろすのに間に合わないことがある。

アルツハイマー病や認知症の人はトイレに行きたい時に粗相をすることがあります。

あなたにできることは？

時間をかけて、楽観的に

- 時間に余裕を持つ。気長に、急がない。
- 冷静に、落ち着いた声で対応する。
- 「こちらへ歩きましょう。こちらへ来て」など、一つずつ指示を出す。
- あなたや異性の人の前で服を下ろすことを恥ずかしく感じないか気を配る。

物事はシンプルに

- ゴム、またはマジックテープのついたズボンなど、脱着しやすい服を用意する。
- トイレに近い場所に座らせ、トイレまで長く歩かなくて済むようにする。
- トイレには常に電気を点けておき、よく見えるようにしておく。
- よく見えるように明るい色の便座を使用する。
- 便座の高い便器や手すりを設置する。-低い便器に座る時、倒れ込むような感じを受けることがある。
- ゴミ箱のような便器に見えるものはすべて片付ける。

日程を守る

- 起床時や食事の前後、就寝前など、トイレを使う決まった時間を作る。
- 就寝前の水や飲み物などを控える。

失敗は起こるもの

- 粗相をしても理解を示す。
- 動揺しているようなら、落ち着かせて安心させる。
- 着替えやウェットティッシュなどを余分に用意しておく。
- トイレの失敗が急に起きたり、頻度が増えた際には、その原因について医者
に相談する。- 例えば、新しい薬や感染症などが原因で起こる場合がある。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADPI0049)

